

地域支援センターしせい

第7号

【平成28年3月7日】

就職アセスメント説明会について

1月31日に本校で「相馬地方障害支援区分に関する地区別説明会・就労継続支援B型事業所利用にかかる就労アセスメント説明会」が行われました。この説明会は、高等部2年生保護者を対象に、卒業後に障害福祉サービスを利用するための手続きと、就労継続支援B型事業所を利用する際に必要な就労アセスメントについての説明を行うことの2つの目的で行われました。

地区別説明会では、福祉担当の方から、18歳を迎えたら市役所でどのような手続きを行えばよいのか詳しくお話をいただき、相双障害者就業・生活支援センター(以下支援センター)の方からは、就労面や生活面での支援の内容や利用の仕方などについての説明がありました。

就労アセスメント説明会は、卒業後にB型事業所を利用したいと考えている生徒と保護者を対象に行いました。就労アセスメントは、6月か11月の現場実習の際に各実習先で行います。就労面、生活面、コミュニケーション面、精神面の4つの項目について細かく評価し、生徒の働く力を見るための目安となるもので、得意なこと、支援の必要なことなどが明確になり、卒業後の支援を受ける際の資料となります。

今回のように学校と地域で情報の交換・共有を行い、関係機関との連携を深めることによって、より生徒が卒業後社会の中で働きやすくなることにつながるのだと感じました。



全2回の「卒業連携ケース会議」を終えて

9月26日と2月24日に本校で「卒業後の地域生活支援連携会議」が行われました。この会議は、本校の教職員と相双障害者就業・生活支援センター(以下支援センター)、各相談支援事業所、各役場の福祉担当の間で、高等部3年生の情報を共有することを目的として年2回実施され、生徒の卒業後の生活支援及び就労支援が円滑に行われることを目指しています。第1回の会議では、各生徒の得意なことや支援が必要なことが書かれた個別のフェイスシートをもとに進路の方向性について話し合い、第2回目の会議では進路希望先の報告や相談支援事業所での手続きの進み具合について確認を行いました。

学校で進路指導を行う際には、就労するまでには、たくさんの方がかわり、支えていただいていることや、就職で何か困ったことがあった時には一人で悩まず、学校や支援センターに必ず相談することを伝えています。卒業後も支援センターや各事業所等と情報交換を行って、協力し合い、生徒一人一人が地域の中で自分らしく生活していくことや、自分の持ち味を生かして働いていけることを願いながらサポートしています。





平成28年度 地域支援センター「しせい」では こんな活動を行いました

研修支援 講師として
テーマ:合理的な配慮について
新地町・小学校

研修支援 講師として
テーマ:ケース会議のあり方について
高等学校

早期教育相談教室
親子学級「すくすく」の開催
2～3歳児クラスの「ひよこ学級」
と4～6歳児クラスの「わんわん学級」
に分かれて活動しました。
年間17回実施し、12組の親子が
参加しました。

地域のセンターとして、特別支援
教育に関する情報提供や相談に
応じます。

まずは、お気軽にお電話ください。



0244-35-5506

相談支援

出かける支援(依頼先に出向いての相談)
幼稚園・小学校・中学校・共生型福祉施設など

来校しての相談

就学に向けての教育相談や特別支援教育に
関する情報提供、就労に関する情報提供など

